

熊本大学医学部附属病院 消化器内科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

プログラムの概要

消化器内科は全消化管と肝胆膵の疾患を対象とする診療科である。診療科としては、上記疾患の診断、外科的治療以外の治療を担当する。また、当内科は腫瘍内科としての特性も兼ね備え、診療を行っている。一方、講座として研究の中心は、臨床研究から、腫瘍学、免疫学、遺伝生化学、ウイルス学、細菌学、病理学といった基礎的研究と幅広く行う。

プログラムの特徴

内科一般の臨床と消化器内科、腫瘍内科として臨床を行う。消化器内科医として、専門的な診断、治療を十分行なえる事に加え、内視鏡検査を始めとする専門的な検査、治療のための技術を習得することに、重点を置いている。そして最終的には、日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本臨床腫瘍学会の専門医の資格を取得できるようにする。

2. 研修目標

【一般目標】

消化器内科、臨床腫瘍内科、内視鏡専門医の卒後研修到達目標に到達する。

【行動目標】

ステップ1：消化器内科診療に必要な基礎知識の習得、医の倫理の習得

ステップ2：消化器内科診療に必要な情報収集・自己啓発能力の習得

ステップ3：消化器内科診療に必要な検査・処置・手技の習得

ステップ4：消化器内科診療に必要な治療手技の取得

内視鏡検査（上部、下部、膵胆管造影、小腸、カプセル、超音波内視鏡）

治療内視鏡（EMR、ESD、EIS、EVL、EST、ERBD）

血管造影検査、肝動脈カテーテル療法（TACE、TAI）、脾動脈塞栓術（PSE）

超音波検査、超音波下検査・治療（肝生検、腫瘍生検、RFA、PEIT、FNA）を行う事が出来る。

3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	3年目	4年目	5年目
A	大学病院	関連施設	
B	関連施設		大学病院

6年目以降は大学院進学、国内留学、大学病院、関連病院を選択する。

4. 評価

関連病院を含めた共通の研修カリキュラムに基づき研修を行い、到達度の評価を行う。

5. 募集人員

各学年 10 名程度

6. 実施責任者

熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学 佐々木 裕

7. 指導責任者

熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学

田中基彦、櫻井宏一、永濱裕康、横峰和典、直江秀昭、尾崎 徹、立山雅邦

8. 関連施設、学会認定状況

1) 関連施設

熊本赤十字病院、熊本中央病院、済生会熊本病院、熊本地域医療センター

国立病院機構熊本医療センター、NTT 西日本九州病院、熊本市市民病院

国立病院機構熊本南病院、熊本労災病院、八代総合病院、水俣市立総合医療センター

玉名地域保健医療センター、天草地域医療センター

2) 学会認定状況

日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本臨床腫瘍学会

9. 連絡先

熊本市本荘 1 丁目 1 番 1 号 熊本大学大学院消化器内科学

連絡先 櫻井 宏一 (医局長)

Tel : 096-373-5149、FAX : 096-371-0582

E-mail : sakurai@s3.kcn-tv.ne.jp

ホームページ : <http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/gastro/>